

動物実験に関する現況調査票

産業医科大学

平成 23 年 12 月

5. 実験動物飼養保管施設の現況

施設の名称	管理者の職・氏名	実験動物管理者の職・氏名(関連資格・経験年数)	動物種	最大飼養頭数(概数)
産業医学研究支援施設動物研究センター	教授・菊田 彰夫	准教授・宮田 博規 (獣医師、農学博士、10年)	マウス	31,750
			ラット	2,592
			ハムスター	216
			モルモット	90
			ウサギ	30
			イヌ	36
			ネコ	15
			サル	18
産業医学研究支援施設アイソトープ研究センター、動物飼育室	教授・柳原 延章	准教授・馬田 敏幸 (医学博士、7年)	マウス	1,080
			ラット	120
			ハムスター	96
			モルモット	30
産業生態科学研究所、吸入曝露室	教授・明星 敏彦	教授・明星 敏彦 (工学博士、5年)	ラット	240
産業保健学部、吸入曝露室	教授・保利 一	教授・保利 一 (工学博士、31年)	マウス	320
			ラット	160

6. 特記事項

(動物実験に関連した、機関の特徴や特殊事情)

本学の組織は、医学部、産業保健学部、大学院医学研究科、産業生態科学研究所、産業医学情報教育施設、産業医学研究支援施設(生体情報研究センター、動物研究センター、アイソトープ研究センター)、産業医科大学病院、産業医科大学若松病院、産業医実務研修センターおよび産学連携・知的財産本部から構成されている。このうち実験動物飼養保管施設は、産業医学研究支援施設内の動物研究センターおよびアイソトープ研究センター、産業生態科学研究所および産業保健学部内の吸入曝露室である。主たる動物実験は動物研究センター内で行われている。アイソトープ研究センター内の動物飼育室および産業生態科学研究所と産業保健学部の吸入曝露室は、産業医学研究に不可欠な動物実験設備であり本学の特徴ある研究設備の一つである。